

令和元年度

事業報告書

4 事業

(1) 発掘調査受託事業

令和元年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、1,047,604,000円であったが、調査の進捗状況等により、最終的に契約金額1,069,725,310円（契約件数21件）となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

| 区 分 | 当初予定(A) | 契約実績(B) | 差異(B)-(A) |
|------------|-------------|-------------|-----------|
| 受託事業費(千円) | 1,047,604千円 | 1,069,726千円 | 22,122千円 |
| 契約件数(件) | 22件 | 21件 | △1件 |
| 発掘調査(北部) | 3件 | 3件 | 0件 |
| 発掘調査(中部) | 7件 | 6件 | △1件 |
| 発掘調査(南部) | 10件 | 9件 | △1件 |
| 遺物整理 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 普及啓発・出土品整理 | 2件 | 2件 | 0件 |

現地調査に係る説明会を10回実施し、参加者は1,371名であった。

| 開催日 | 遺跡名 | 参加者人数 |
|-----------|------------------|---------------|
| 6月16日(日) | 犬飼遺跡第3次(亀岡市) | 206名 |
| 7月19日(金) | 木津川河床遺跡第32次(八幡市) | 13名(関係者説明会) |
| 8月24日(土) | 金生寺遺跡第5次(亀岡市) | 92名 |
| 8月31日(土) | 芝山遺跡第19次(城陽市) | 197名 |
| 開催日 | 遺跡名 | 参加者人数 |
| 10月26日(土) | 水主神社東遺跡第12次(城陽市) | 198名 |
| 11月2日(土) | 満願寺跡第2次(舞鶴市) | 93名 |
| 2月14日(金) | 平安京跡(京都市) | 160名(府庁職員等) |
| 2月15日(土) | 平安京跡(京都市) | 290名 |
| 2月20日(木) | 平安京跡(京都市) | 42名(平安女学院) |
| 2月21日(金) | 平安京跡(京都市) | 80名(文化庁研修受研者) |

なお、調査を実施したもののうち、特に顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 主要遺構等 | 時代 |
|----|------|--------|--|---------------|
| 9 | 平安京跡 | 京都市上京区 | 平安時代の礎石投棄土坑 平安時代末～鎌倉時代初期・ 室町時代の出水通の側溝 戦国時代の3条の堀 江戸時代の町屋跡 | 平安・鎌倉・室町・江戸時代 |

調査報告書については各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、資料 2 のとおりである。

『京都府遺跡調査報告集 第 179 冊』 3 月刊行

『京都府遺跡調査報告集 第 180 冊』 3 月刊行

(2) 普及啓発事業

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーの実施及び実施予定は、次のとおりである。

| 回数 | 開催日 | 実施内容 | 会場 |
|-----|----------------------|---|-------------------------------------|
| 141 | 令和元年 6月15日 (土) | 『丹波の古代寺院を探る！ ～新たな寺院発見か！？～』 ・瓦と瓦塔から見た古代寺院 －佐伯遺跡の調査成果を中心に－ 当調査研究センター 浅田洋輔 調査員 ・亀岡盆地における古代寺院建立 亀岡市教育委員会 樋口隆久 文化財専門官 ・丹波国における律令制成立期の寺院 －山背国と対比しつつ－ 当調査研究センター 上原真人 理事 | ギャラリーかめおか (亀岡市) (参加者 128 名) |
| 回数 | 開催日 | 実施内容 | 会場 |
| 142 | 令和元年 11月9日 (土) | 『淀川水系の古墳を考える！ －継体朝の地域有力者たち－』 ・京都府南部の墓制 －城陽市芝山古墳群の調査成果を中心に－ 当調査研究センター 菅 博絵 調査員 ・古墳時代後期の墓制 －近江の継体朝を中心に－ 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 堀 真人 副主幹 ・中小古墳からみた継体朝の摂津 －三島地域を中心に－ 高槻市立今城塚古代歴史館 今西康宏 学芸員 | 長岡京市産業文化 会館（長岡京市） (参加者 103 名) |

| | | | |
|-----|----------------------|--|---|
| 143 | 令和2年 2月15日 (土) | 『弥生時代の住宅事情 －弥生人の住まいの実像に迫る－』 ・弥生時代後期の屋外排水溝を備える竪穴住居 －八幡市美濃山遺跡を中心に－ 当調査研究センター 中川和哉 課長補佐 ・河内弥生人の住まいに迫る －大阪府八尾南遺跡の竪穴住居－ 茨木市教育委員会 正岡大実 発掘調査員 ・弥生～古墳時代移行期の集落と社会 同志社大学歴史資料館 若林邦彦 教授 | イオンモール KYOTO Koto ホール (京都市) (参加者 126名) |
|-----|----------------------|--|---|

(イ) 成果展 (京都府教育委員会委託事業)

平成30年度の発掘調査成果を中心とする成果展とともに古代寺院関係資料の展示を実施した。巡回展として京都府立丹後郷土資料館、京都府立山城郷土資料館においても実施した。3館の総参加者は3,285名であった。

○テーマ：「発掘された京都の歴史2019 まぼろしの古代寺院」

- ・会場：向日市文化資料館
- ・会期：令和元年8月3日(土)から同25日(日)20日間
- ・入館者：1,885名

- ・会場：府立丹後郷土資料館
- ・会期：令和元年9月4日(水)から同16日(月)12日間
- ・入館者：958名

- ・会場：府立山城郷土資料館
- ・会期：令和元年9月28日(土)から10月14日(月)15日間
- ・入館者：442名

(ウ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。内容は資料2のとおりである。

| | | |
|-------|-------|--------|
| 第136号 | 10月刊行 | 1,500部 |
| 第137号 | 3月刊行 | 1,500部 |

(エ) 埋蔵文化財リーフレット (京都府教育委員会委託事業)

府内の遺跡発掘調査成果等を発信するリーフレット『もっと知りたい京都の遺跡』を年2回作成した。(A3版、二つ折り、カラー刷り)

| | | |
|-----|------|--------|
| 第5号 | 1月刊行 | 7,000部 |
| 第6号 | 3月刊行 | 7,000部 |

(オ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して、積極的な文化財保護の啓発を行った。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行った。

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」

| | | | | |
|-----|-----|-------------|--------|--------|
| 開催日 | 第1回 | 令和元年8月6日（火） | 午前10時～ | 参加者27名 |
| | 第2回 | 〃 8月6日（火） | 午後2時～ | 参加者28名 |
| | 第3回 | 〃 8月7日（水） | 午前10時～ | 参加者29名 |
| | 第4回 | 〃 8月7日（水） | 午後2時～ | 参加者13名 |
| | 第5回 | 〃 8月8日（木） | 午前10時～ | 参加者28名 |
| | 第6回 | 〃 8月8日（木） | 午後2時～ | 参加者29名 |

会場 当調査研究センター研修室

対象 乙訓管内の小学4～6年生を対象とした。

人数 合計154名

○京都府教育委員会「京まなび教室等特別講師派遣事業」

・講座名 「勾玉をつくってみよう」

開催日 令和元年8月23日（金）

会場等 長岡京市立長法寺小学校 参加者12名

・講座名 「勾玉をつくってみよう」

開催日 令和元年10月29日（火）

会場等 第3向陽小学校 参加者43名

(カ) 「関西考古学の日2019」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟12法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2019」に関連して、当調査研究センターは、京都の歴史を紹介する『秋の考古学講座』を開講した。

・秋の考古学講座（各講座 定員30名）

第1回 令和元年9月7日（土）午前10時～午前11時30分

加藤 雄太 「発掘された伏見人形
—みやこを彩るフィギュアたち—」

参加者21名

第2回 令和元年10月12日（土）午前10時～午前11時30分

桐井 理揮 「見る、魅る、分かる、京都の弥生土器」

台風により中止

第3回 令和元年11月2日（土）午前10時～午前11時30分

荒木 瀬奈 「丹波の横穴式石室を探る」

参加者17名

(キ) 「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

京都向日町競輪場において開催される「向日市まつり」において「軒丸瓦コースターをつくろう」と題して、考古学が体験できるブースを運営した。

テーマ 「軒丸瓦コースターをつくろう」
 開催日 令和元年 11月16日（土）参加者 121名
 11月17日（日）参加者 81名
 合計 202名
 会場 京都向日町競輪場

（ク） 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を複数の職員が共同で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

| | 申請者 | 共同研究者 | 研究テーマ | 継続・新規 |
|---|-------|---------------|--|-------|
| 1 | 面 将道 | 中川 和哉 | 北部九州における瀬戸内技法の流入時期について | 継続 |
| 2 | 山本 梓 | 引原 茂治 | 丹波地域における瓦器椀の地域性 | 新規 |
| 3 | 加藤 雄太 | 上井 佐妃 | 中世丹後の土器・陶磁器 | 新規 |
| 4 | 川上 晃生 | 増田 孝彦 小池 寛 | 美濃山遺跡における竪穴建物構造及び出土遺物からみた集団関係 — 弥生時代後期を中心として — | 新規 |

（ケ） 出土品の台帳作成（京都府教育委員会委託事業）

出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。

| 遺 跡 名 | 整 理 箱 数 |
|-----------------------|---------|
| 平安京跡左京一条三坊二町(京都府警察本部) | 230 箱 |

5 その他

（1） 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加し、職員の資質向上に取り組んだ。

（2） 一般研修

人権研修推進委員会が中心となり、鈴江理事を講師として、11月15日に職場研修を実施した。また、臨時職員を対象とした職場づくり研修を本部及び発掘調査事務所で実施した。このほか、京都府教育庁行政・人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加した。

（3） 遺跡検討会

岡田国遺跡の報告書（第 180 冊）に反映させるため、11 月 1 日に職員とともに上原理事、高橋理事、府文化財保護課職員、木津川市教育委員会職員の助言を受けて、遺構・遺物の検討を行った。

（４）講師派遣

土曜日に実施される京都府立大学の集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」に職員を交代で派遣している。